

教材 1-1(1)

漢字の読み

年

組

番

名前

○次の文章の……の漢字の読みをひらがなで書きましょう。

読書は想像力を養う<sup>①</sup>という。しかし、本を読んでいるだ

けでは想像力は高まらないという。例<sup>②</sup>えば、昔話、古典を

読んでも、当時の人々の生活習慣や考<sup>③</sup>え方を知らなければ、

生き方そのものを想像することはできない。だが、こ

れらの知識<sup>④</sup>を得るのも書物からであるとすれば、やはり読

書によって想像力は高められるだろう。

また、生活様式<sup>⑤</sup>が変化しても、情景描写<sup>⑥</sup>や人物描写など

から生き方を探<sup>⑦</sup>ることはできる。ただし、そこには作者が

意図<sup>⑧</sup>的に描<sup>⑨</sup>き出した人物像があることを忘れてはならな

い。創作活動にもある程度の自由は許<sup>⑩</sup>される。読者は、作

者の独自の世界の中で、想像力を働かせていることにもな

るのである。

⑩	⑨	⑧	⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
される			る					えば	う

年

組

番

名前

○ 次の文章の —— の漢字の読み方をひらがなで書きましょう。

これから、我が家で家族旅行に行くときの計画について話します。計画を  
 ①綿密（まひんみつ）に立てる係は私と母ですが、家族会議で決めたことを三つ入れていま  
 す。一つめは何かしら「学習」を取り入れること。去年は、②武家（ぶけ）の屋敷跡（やしきあと）  
 と、有名な作家が③誕生（たんじょう）した場所を訪ねました。二つめは、④格上（かくじょう）の旅館では  
 なくても、とにかく家族全員が一部屋（へや）に泊（と）まれる大部屋を予約すること  
 す。また、荷物や⑤上着（じやうしやく）を⑥収納（しゆなう）するスペースが十分にあることも重要です。  
 三つ目は、特徴（とくちょう）ある食事を選ぶことです。去年は、朝、にわとりが産んだ  
 ばかりの⑦生卵（なまたまご）や、武士が食べたという、野草料理が出ました。  
 小さなアクシデントもいくつかありましたが、⑧家路（けち）につく頃（ころ）には、⑨一（ひと）生  
 の思い出として心に⑩刻（き）まりました。また来年も、家族みんなに⑪奮（ふる）って参加  
 してもらえような旅行の計画を立てたいと思います。

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

⑧

⑨

⑩

まれ

⑪

って

年

組

番

名前

○ 次の——線部の漢字の読み方を、ひらがなを使って現代かなづかいで書きなさい。

今年、中学二年生になる私ですが、いそがしさに負けない方法を皆さんにお話します。

一年生のときは、とにかく勉強と部活動の両立が大変でした。特に勉強面では、教科ごとの提出物があり、その期限を厳守<sup>①</sup>することが大切だといふことが分かりました。そのために、工夫したことは、部屋のカレンダーに、自分の予定をしっかりと書くことです。そして、予定に向かって綿密<sup>②</sup>な計画を立てます。それによつて、心にゆとりができるようになりました。

また、我が家はお茶を売るお店をしています。去年から母もお店で働き出したので、幼い弟の世話をしたり、お茶の電話注文を承<sup>③</sup>るなど、家族のお手伝いもがんばっています。いそがしい中でも、時間のやりくりをすることで、少し大人になったような気持ちです。

①

②

③

④

る

い

年

組

番

名前

○次の文章の………の漢字の読みをひらがなで書きましょう。

本屋で、本を選ぶときの私の方法について説明します。

まず、自分が知っている著者<sup>①</sup>、または作者のコーナーに行きます。題名を見たり、店員さんが作っているポップの文を読んだりして、本を選びます。

次に、新着コーナーに行きます。最近では、売上数順によって、今週のランキングが示されているところもあり、今注目の本や、勢い<sup>②</sup>のある作家が書いた本に出会うことができます。

最後に、本屋さんに行くのが、時間的に厳しい<sup>③</sup>ときにおすすめの方法を紹介します。それは、店員さんによるパソコンの操作<sup>④</sup>によって検索してもらう方法です。読みたい作家や本のジャンルを伝えると、それに合った本をさがしてくれます。

さあ、あなたもすてきな本との出会いをしませんか。

④

③

しい

②

い

①